

設計・施工一括発注方式の取扱いについて

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催準備に当たっては、確実な開催に向けて民間の優れた技術力を十分に活用し、事業を迅速に進める手法の導入が必要です。

そのための一つの手法として、設計段階から施工技術に精通した者の技術力を得ることで、設計及び施工の合理化・効率化を図り、確実な工程管理・品質管理が期待できる設計・施工一括（以下「DB（Design Build）」という。）発注方式を採用することが考えられます。

DB発注方式については、下記を基本的な考え方として取り組んでまいりますので、お知らせします。

記

● DB発注方式の適用要件

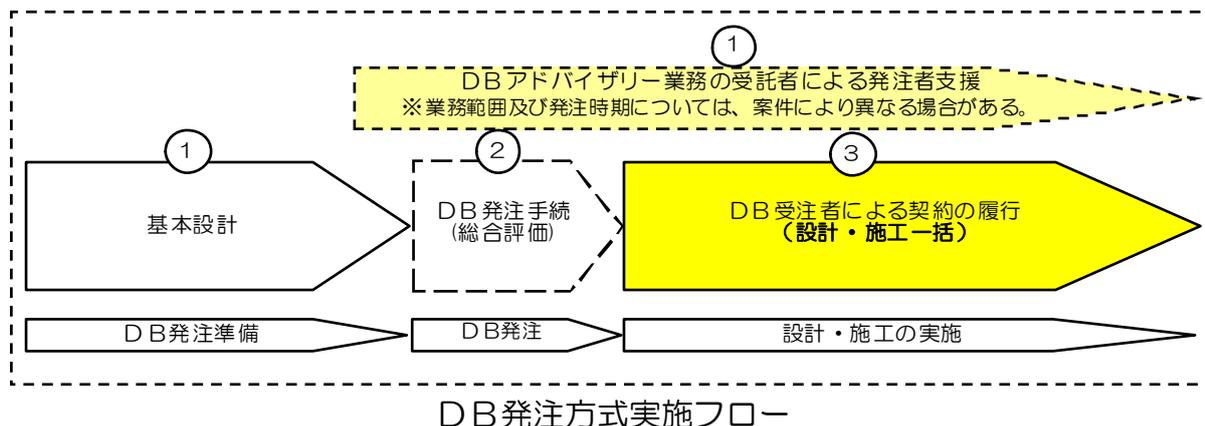
競技会場にある施設のうち、DB発注により事業を実施することが有効と考えられるもので、次のいずれかに該当する施設を対象に適用します。

- 特殊な施設又は施工の難易度の高い施設であって、設計段階から施工者の高度な技術力の活用が要求されるもの
- しゅん功までの時間的猶予が少なく、設計・施工の効率化により工期内の確実な履行完了が要求されるもの

●DB発注方式の実施概要

DB発注方式では、基本設計、発注者支援等の業務（DBアドバイザー業務）を別途委託し、DB発注に向けた条件整理等の事前準備を行います。

その後、価格と価格以外の要素（技術力）とを総合的に評価する総合評価方式によってDB受注者を決定し、設計・施工を一括して実施します。



特にポイントとなる点は、次のとおりです。

① 基本設計及びDBアドバイザー業務

- DB発注方式を適用する案件では、DB発注に先立ち基本設計を実施します。この中で、必要な事前設計のほか、整備する施設に求める性能等の要求水準、受発注者間のリスク分担等を検討し、DB発注資料の作成を行います。
- 基本設計は、原則としてプロポーザル方式により、委託先を選定します。
- DB発注方式による事業を円滑に実施するため、原則としてDBアドバイザー業務※を委託します。

※ DBアドバイザー業務の内容は、主に次の2点です。

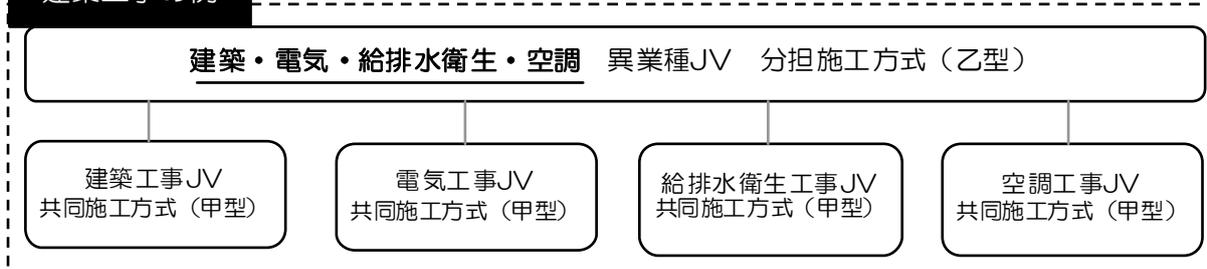
- ① DB発注手続き中の総合評価審査支援等の業務
- ② DB契約締結後、設計段階における設計内容の確認及び工事施工段階における施工図、施工状況の確認等の業務

※ DBアドバイザー業務は、DB発注の設計・施工条件を理解した上で業務を実施する必要があるため、基本設計の受託会社に委託することが考えられます。

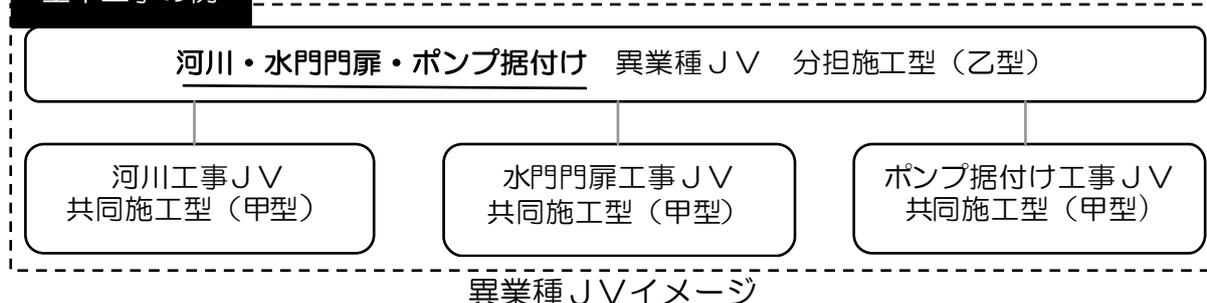
② DB発注手続

- DB発注では、価格と価格以外の要素（技術力）とを総合的に評価する総合評価方式により落札者を決定します。
- 設計業務の担当は、建設共同企業体（JV）の構成員又はJVと委託契約を締結する予定の設計協力会社のいずれかとします。入札参加資格確認申請時には、担当を明らかにしてください。
 - ※ 基本設計受託者及びDBアドバイザー業務受託者は、JVとの間で委託契約を締結する予定の設計協力会社となることはできません。
- 工事は、JVを結成して行うこととし、複数の業種にまたがる工事の場合は、原則として分担施工方式（乙型）の異業種JVを結成し、各業種内で共同施工方式（甲型）のJVを結成することとします。

建築工事の例



土木工事の例



異業種JVイメージ

③ 契約の履行（設計・施工の実施）

DB受注者は、都が仕様書で定める性能等の要求要件、総合評価時の技術提案等に基づき、設計及び施工を実施することになります。

DB発注の手続等の詳細については、基本設計終了後、DB発注時に案件ごとに制定する実施要領において公表します。